

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	6月20日(月)	山口県	漁船	運航不能
	6月23日(木)	福岡県	貨物船	運航不能
	6月25日(土)	大分県	プレジャーボート	運航不能
人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	6月26日(日)	山口県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	負傷

「夏」始まる！

【問合せ先】
 第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場
 安全対策調整官 川部
 TEL：093-321-2931（内線2640）

全国各地で、例年より早い梅雨明けが発表されており、天気予報等でも既に今年の夏は、「猛暑日」が多くなると予想されています。熱中症対策等しっかりして夏を乗り切りましょう。

「猛暑日」について

・昔は無かった「猛暑日」

「猛暑日」とは、最高気温が35度以上の日のことを言います。

昔は、「猛暑日」と言う言葉は使われておらず、また、気温が35度を超えるような日も稀でした。それから、地球温暖化の影響により気温が35度以上となる日も増えていき、1990年代初め頃から一部報道関係者が「酷い暑さの日」の意味で「酷暑日」という言葉使っていました。

そこからさらに気温35度以上となる日が増えていき、2007年4月気象庁が正式に「気温35度以上となる日」を「猛暑日」として予報用語としました。

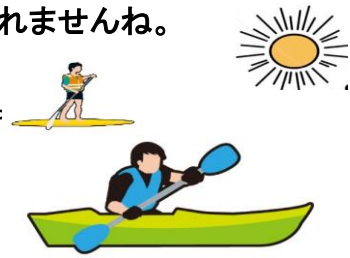
現在は、各地で気温が40度以上を記録したと報道されており、もしかしたら、新たに「気温40度以上の日」と言う意味の言葉が生まれるかもしれませんね。

・夏の気象庁予報用語

夏の暑さを示す予報用語は以下のようなものがあります。

- ・夏日：一日の最高気温が25度以上の日
- ・真夏日：一日の最高気温が30度以上の日
- ・猛暑日：一日の最高気温が35度以上の日
- ・酷暑日：猛暑日の俗称
- ・熱帯夜：夜間の最低気温が25度以上の日

例年と比べ、今年は6月にもかかわらず、真夏日となる日が多いので、マリンレジャーを楽しむときは、水分補給を忘れずに楽しみましょう。



・土用波にご用心

土用(立秋前の18日間)になると発生する大きな波の事を土用波と言い、古くから土用の日周辺では、天気が良くても大波に注意するように言われていました。

近年の研究により波の発生原因の多くは、日本から数千km南方の台風周辺で発生した波が日本の沿岸まで伝わってきたものとわかりました。

現場での風が弱くても急に大きな波が発生することがありますので、台風の位置が遥か遠くの海上であっても海に近づくときは注意が必要です。



安全で楽しいマリンレジャーのためにHP「ウォーターセーフティガイド」をご覧ください。

URL <https://www.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/>

